

下野市の進める小中一貫教育

小中一貫教育は、義務教育9年間を一つの教育課程で進めることにより、9年間を見通した段階的かつ系統的指導が可能となり、学力の向上とともに語学力やコミュニケーション能力、主体性、積極性、ふるさとや伝統文化を大切にしながら異文化を理解できる力等を育成するために大変有効であると考えております。

下野市においては、平成20年より8年間、小中連携教育を推進し、学力の向上、中1ギャップの解消、小中学校9年間の一貫した教育を行うことについての教職員への意識付け等、様々な成果をあげてきたところです。今後は、これらの成果を踏まえて、9年間の一貫した継続指導を行うという新しい教育システムを導入することにより、さらに充実した質の高い教育を実現していくことを目指します。

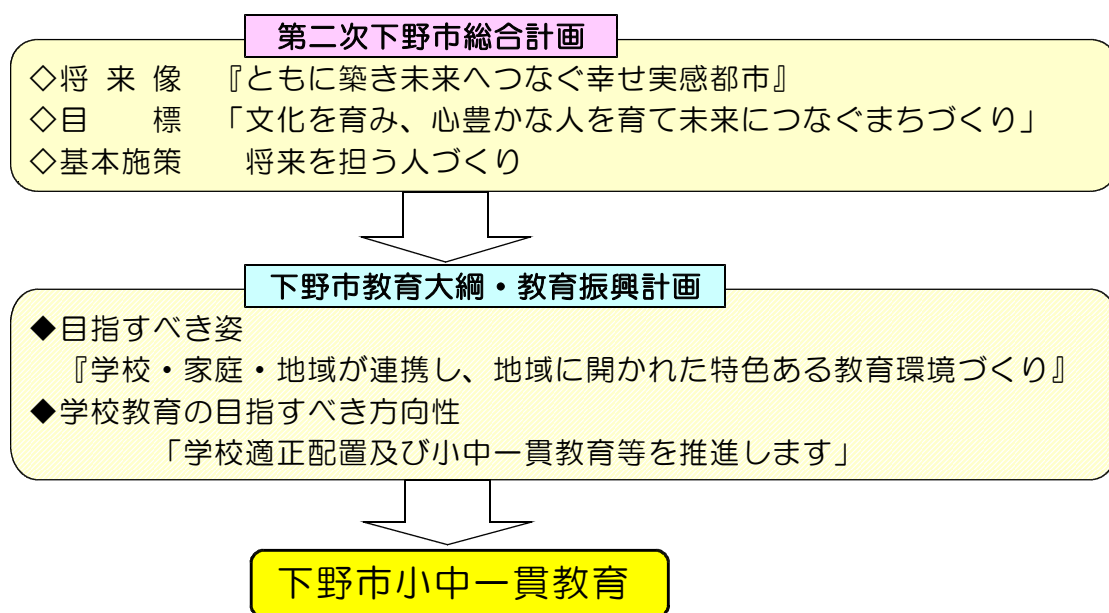
新しい教育システムでは、「学力・体力の向上」、「下野市ならではの教育資源を活かした学校園の創造」、「学校を中心とした地域コミュニティの活性化」等の実現を、本市の小中一貫教育が目指す学校像として位置づけます。

特に南河内中学校区においては、教育振興に関する協議会を設置し、関係委員を交えて、小中一貫教育のありかた等について検討し、その方向性を示してまいります。

以上のことを踏まえ、平成28年7月より南河内中学校区小中一貫教育推進協議会において検討を重ねた結果、「施設一体型の義務教育学校の創設が望ましい」との結論に至り、平成29年2月、下野市総合教育会議において義務教育学校の創設が決定いたしました。

この基本構想は、南河内中学校区における義務教育学校の創設にあたり、本市の小中一貫教育基本方針や義務教育学校の開校に向けて必要となる主な事項等を示したものです。

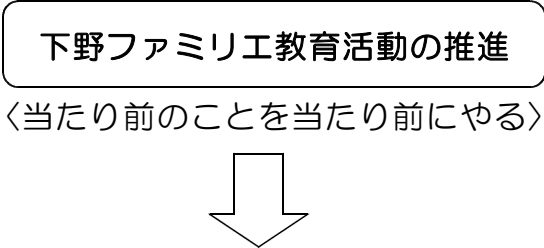
〈小中一貫教育の位置づけ〉



I 下野市の小中一貫教育基本方針

1 小中一貫教育のねらい

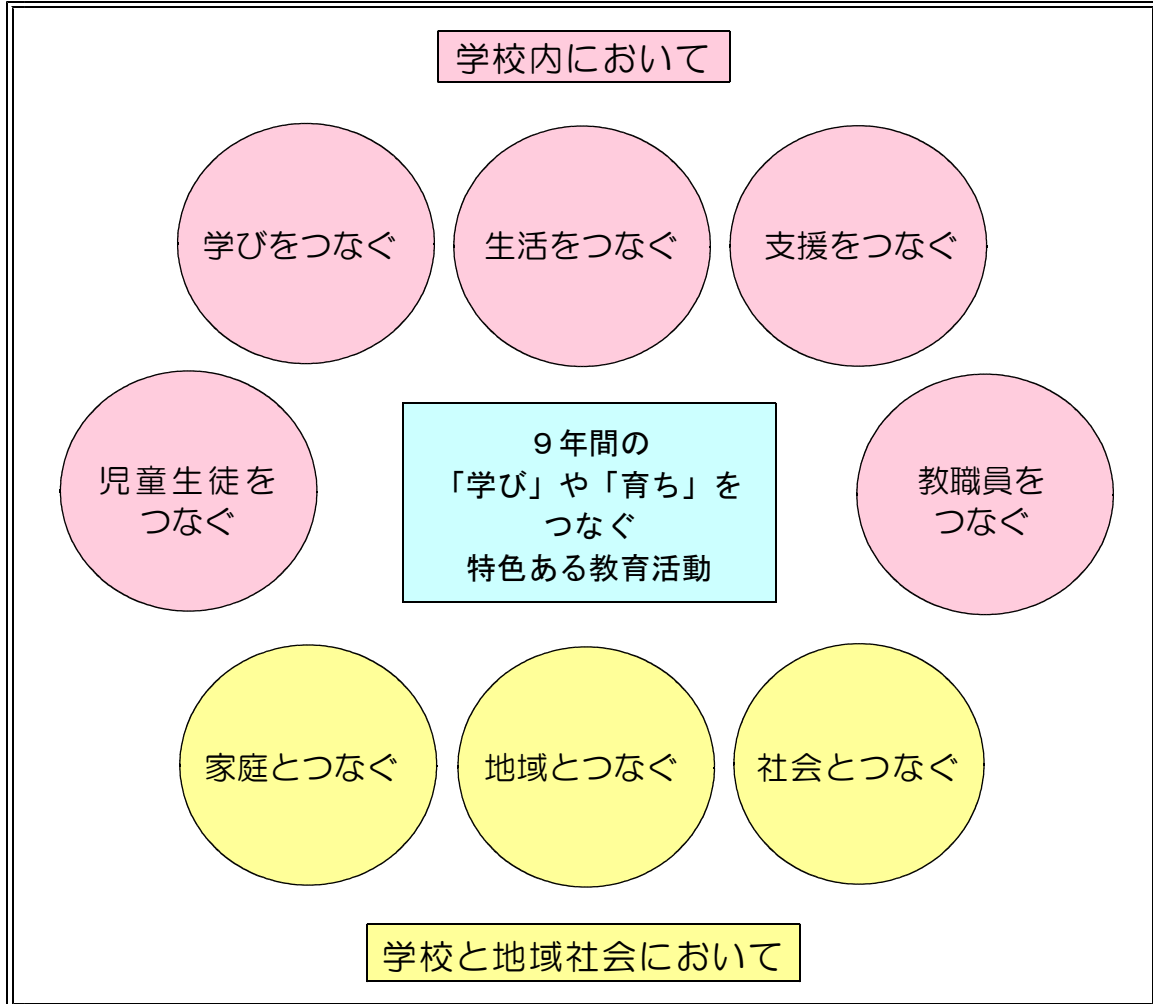
9年間の一貫した継続指導を行うという新しい教育システムを導入することにより、「学力・体力の向上」、「下野市ならではの教育資源を活かした学校園の創造」、「学校を中心とした地域コミュニティの活性化」等の実現を目指します。



下野市小中一貫教育のねらい				
学力・体力の向上		下野市ならではの教育資源を活かした学校園の創造		学校を中心とした地域コミュニティの活性化
基礎学力の定着による学力の向上	体力の維持向上による心身の健康維持	郷土の歴史や自然と関わる学習活動による豊かな心の育成	様々な体験・学習活動等による職業人としての基礎の育成	様々な交流活動による人や社会とのかかわる力（コミュニケーション力）の育成

2 小中一貫教育のコンセプト

下野市の小中一貫教育は、「学力・体力の向上」、「下野市ならではの教育資源を活かした学校園の創造」、「学校を中心とした地域コミュニティの活性化」等の実現のため、一つ一つの学びや育ちをつなぎます。



学校内において

『学びをつなぐ』

「学びをつなぐ」では、小中学校の学習方法や学習内容の継続性を大切にし、家庭学習においても発達段階に応じた学習を提案します。

『生活をつなぐ』

「生活をつなぐ」では、児童生徒の情報を教職員間で共有し、より良い生活や人間関係を築こうとする態度を育成するための継続的な指導を行います。

『支援をつなぐ』

「支援をつなぐ」では、児童生徒一人一人のニーズに応じた特別支援教育を行うとともに、特に特別な支援を必要とする児童生徒については、支援に関する情報の共有・引継ぎを確実にし、指導の充実を図ります。

『児童生徒をつなぐ』

「児童生徒をつなぐ」では、小学校1年生から中学校3年生までの子どもたちが、児童生徒会活動や縦割り活動等を通して、互いを高め合います。

『教職員をつなぐ』

「教職員をつなぐ」では、小中学校の教職員が目指す子ども像の具現化を目指して、児童生徒の情報や指導方法の共有による組織的・機能的な指導や支援を展開します。

学校と地域社会において

『家庭とつなぐ』

「家庭とつなぐ」では、学校からの各種たより等による情報の提供や保護者・家庭との連携により、発達段階に応じた学習習慣や基本的生活習慣づくりを支援します。

『地域とつなぐ』

「地域とつなぐ」では「学校運営協議会」制度を導入し、コミュニティスクールとして地域とつながります。

『社会とつなぐ』

「社会とつなぐ」では、小中学校の児童生徒や地域の方々との多様な交流により、人や社会と関わる力を育成し、自己有用感・自己肯定感の高揚を図ります。

3 本市における小中一貫教育の学びや育ちの姿

- ① 小中学校教職員の連携強化に基づいた、継続性のある発達段階に応じた教育の実践による学力・体力の向上
- ② 9年間を見通した児童生徒指導による、いじめの根絶と長期欠席児童生徒数の縮減
- ③ ファミリエ下野市民運動・下野市子ども未来プロジェクトの組織的推進による、自ら進んで人や社会と関わることができる力の育成
- ④ ふるさと学習の充実による、郷土の歴史やよさを語れる児童生徒の育成
- ⑤ 英語教育・道徳教育・キャリア教育・情報教育等の充実による、広い視野をもった世界で活躍できる児童生徒の育成